

「介護とは何か？」から

介護の仕事 も考える

介護の専門家の優しさとは？

「その人らしく生きる」を
支える介護の仕事

介護の仕事って
どうなんだろう？

気になるね！

介護業界への入り方とキャリアステップ
多様化する介護サービス

観察力・洞察力・想像力がポイント
介護の現場で働く魅力！
優しく、ポジティブなことが生かせる仕事

介護福祉士インタビュー

介護現場で活躍するステキな先輩！

HPで公開中！



介護職diary

高校生向け 若手介護職員
ドキュメンタリーDVD

愛知県公式介護職情報サイト

介護の魅力ネットあいち

介護の魅力ネットあいち

検索



■監修

同朋大学社会福祉学部社会福祉学科 教授・一般社団法人愛知県介護福祉士会 会長 下山久之
日本福祉大学社会福祉学部 教授 平野隆之

■協力団体

一般社団法人愛知県介護福祉士会／一般社団法人愛知県作業療法士会／公益社団法人愛知県理学療法士会

■協力事業者

医療法人昌峰会 リハスクエア覚王山／社会福祉法人せんねん村 特別養護老人ホーム せんねん村矢曾根／
社会福祉法人紫水会 オーネスト戸田川／社会福祉法人紫水会 オーネスト堀川／
社会福祉法人紫水会 オーネスト杜若／社会福祉法人紫水会 オーネスト桃花林

■企画制作

株式会社アルファポイント／ココミライ株式会社／株式会社CS.2

“80歳のわたし”へ。



お元気ですか？

花の色はキレイですか。
友達とおしゃべりを
楽しんでいますか。
食事はおいしいですか。
自分の好きな食べ物を
我慢していませんか。

毎日は楽しいですか。

行きたいところに、行きたい時に、
自分の思うように、
歩いていくことができますか。

80歳のわたしへ.....	1・2P
介護職の本質.....	3・4P
介護職の魅力.....	5・6P
介護の専門家にインタビュー.....	7・8P
介護職員から見た多職種連携！.....	9・10P
連携する職種の専門家にインタビュー.....	11・12P
介護業界への入り方とキャリアステップ.....	13・14P
介護職員が活躍できる背景.....	15・16P
介護の未来.....	17P
あとがき.....	18P

想像してみよう。

“80歳のわたし”は、誰と一緒にいるだろう。毎日どんな風に過ごしているだろう。
“80歳のわたし”のカラダは、自分の自由に動くのだろうか。ココロは、いつも明るく元気だろうか。
“80歳のわたし”は、一体何に困っているだろうか。

❖ 思い浮かべてみてください ❖

年齢とともに運動機能の低下、
病気による障害、それに伴い気力の
低下があらわれる場合もあります。

例えば、高齢になると、日常の生活に
次のような不自由が生じてきます。

- 手** ペットボトルが開けられない。
蛇口が回せない。箸がもてない。
- 足** よろけて一人でトイレにいけない。
バスタブをまたげない。
- 目** かすむ。見えにくい。
- 耳** 聞きとりにくい。



1

“80歳のわたし”は
どのようなことに
困っていますか？

2

“80歳のわたし”は
どのような暮らしが
したいですか？

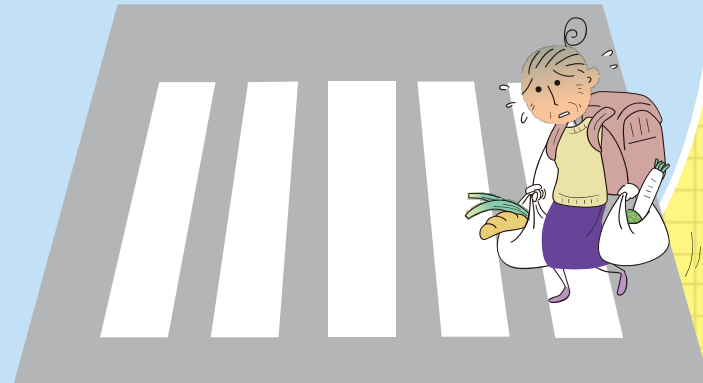
3

“高校生のわたし”は、
“80歳のわたし”に会ったら
どんな手助けを
してあげたいですか？

横断歩道を渡ろうとしている 高齢者がいたら・・・？！

大きな荷物を持った高齢者が、横断歩道を渡ろうとしています。

あなたなら、どんな手助けをしますか？



このような例の場合、荷物を持ってあげるという人も多いのではないのでしょうか？そうした、高齢者を手助けし優しくする心はとても大切なものです。

しかし介護現場では、高齢者だからといって何でも手助けするということはありません。

そこには、介護職ならではの少し違った“優しさ”の視点があります。

『優しさ』って
何だろう？



介護の専門家ならではの“優しさ”とは？

～ 高齢者の「自立支援」と「尊厳の保持」のために ～

自立支援

できる部分は高齢者自身にしてもらい、
できない部分を支援する

介護職員は、高齢者がゆっくりでも“自ら歩きたい”という意思があれば、身体の状態に合わせ、背中をそっと支えたり、手を差し伸べたり、歩く速度を見守りながら、その人なりの“歩く”を最大限に引き出すような「自立支援」を行います。

なぜなら、高齢者の生活において、介護する人がそばにいる時間より、一人でいる時間の方が長いからです。



尊厳の保持

“自分で決めることができる状態”を維持する

人間は、本来、自分らしく生きるために様々なことを“自分で決める”ことができます。これを介護の現場では“自己決定の尊重”と言います。この“自分自身に関することは自分で決定する”という当たり前の権利を行使し、自分らしく生きることを「尊厳の保持」と言います。

介護が必要になると、尊厳が損なわれやすい状況に度々陥ります。例えば、歩く意思があり、歩くこともできるけれど、転ぶ可能性がある高齢者を、周囲は危険が大きいと判断して車椅子に乗せてしまうことがあります。そうすると、歩くことが難しくなってしまうのです。これは、図らずも人としての尊厳が損なわれている状態と言えるでしょう。

個人の尊厳を保持するためには、高齢者一人ひとりがどうしたいのかという個人の意向を理解する必要があります。



「自立支援」と「尊厳の保持」を
実現するために ～発揮する高い専門性～

介護職とは、高齢者がより健やかに生きることを実現するために、とても高い専門性が問われる仕事です。言い換えると、“高齢者が、その人らしく暮らし、生きられるように支える”こと。そのためには、高齢者本人はもちろん、家族や周りの人とコミュニケーションをとり、高齢者一人ひとりが元々どう生きてきたのか、その人が本当に好むことはどんなことなのか等を知ることが重要です。

そして、これから先、高齢者がどう生きていきたいのかという意思を引き出し、「自立支援」を通して、個人の「尊厳の保持」に努めます。

✓ QOL (Quality of Life : 生活の質) を意識して高齢者と接する

介護の現場でよく使われる概念に「QOL」という言葉があります。

QOLは、利用者の生活を支援するためにとても大切な考え方です。

人は、毎日の生活の中で“したいこと”ができると幸せを感じます。また、人間は一人では生きていけません。社会や他者との関わりの中で共に生き、社会的な存在であるということが、QOLの向上には欠かせません。

高齢者になると、今までできたことが徐々にできなくなり、生活にストレスが溜まることも増え、その人らしさや社会的関係に悪影響を与えることもあります。

介護職員は、QOL向上のために、高齢者のできること・できないことを把握するだけでなく、“したいこと”をしてもらい、社会的な存在であることを念頭に置きながら、高齢者が充実した生活を送ることを大切にしています。

観察力・洞察力・想像力がポイント 介護の現場で働く魅力!

喜怒哀楽を引き出し、
受け止める!

笑顔にするには
どうしたらいいだろう

誰でも嫌なことがあれば怒るし、悲しければ涙します。“喜怒哀楽”それぞれの感情には意味があり、その感情を受け止めることも大切。そんなとき、「この人を笑顔にするにはどうしよう?」と想像力と創造力を発揮するのも介護職の魅力。

その人なりの
理由を推理!

どうして
徘徊しているのだろう

例えばうろうろしている高齢者が家族にいたら、心配で仕方ありません。でも実は、徘徊する人には、不安なことや落ち着かない、その人なりの理由があります。その理由を推理・発見・理解するのが介護職のおもしろいところ。

医療は症状に、
介護は人に寄り添う!

医療と介護との
違いを考えてみよう

認知症の人を前に、医師は認知症が進まないよう症状を気にかけて治療をします。介護職員は認知症の人に寄り添い、症状に合わせたケアを心がけることで、「その人らしく生きる」を最も身近で支えることができます!

優しく、 ポジティブな ことが 生かせる仕事

介護職は、高齢化が加速し介護需要が高まるこの国において、欠かすことのできない重要な役割を果たしています。

これまで見てきたように、介護の仕事は、加齢による衰えや病気、障がいがあっても、可能な範囲での自立支援を通し、その方一人ひとりに合わせた“自己実現と生活の質の向上”を目指していく仕事です。これには、専門的な知識や技術、新たな気づきを生むクリエイティブな能力が必要である一方で、皆さんが持っている“優しさ”や“困っている人を思いやる心”、“物事をポジティブに捉える力”が求められるとともに、それらが生かせる仕事でもあります。

Check!

同じように見えて違う役割…
隣接分野との関係

医療、保健、福祉・介護、一見すると同じようにとらえがちですが、それぞれの機能と目的の違いを理解して、介護分野がどのような役割を持っているのか考えてみよう。

治療する
医療

福祉・介護

自立支援、
QOLの向上を図る
生活の継続

保健

予防する
早期発見

経験豊富な人との
コミュニケーションが魅力!

クラスメイトを
思い浮かべてみよう

高校のクラスと同じで、個性的な人達と出会えるのも魅力の一つ。介護の現場には、人生経験豊富なおじいちゃん・おばあちゃんを支えながら、多くのことを教えてもらえる、コミュニケーションがいっぱい。

介護現場で活躍する介護福祉士 ステキな先輩！

なぜ、介護に携わる仕事を選んだのか？

楽しいこと、つらいこと、夢や希望をインタビュー!!



介護に携わる仕事を選んだ理由は？

アルバイトで接客業を経験した際に、みんなで協力して仕事をする楽しさや仕事を通じて誰かに喜んで貰える嬉しさから、直接人と関わり誰かのためになるような仕事をしたいと思い、介護の仕事を選びました。

体験談をお聞かせください

入居者さまだけでなくご家族さまも含めて何かしてあげたいという思いから、結婚したときに式を挙げられなかった入居者さまの金婚式を施設でおこない、入居者さまとご家族さまにもとても喜んで頂き、自分自身も介護職の楽しさ、やりがいを感じるきっかけになりました。

他にも調理士さんと連携して企画をし、その場でお寿司を握ってお店で食べるような雰囲気を楽しんでもらったり、実際に竹を組んで流しそうめんをおこなったりしました。

みんなで楽しめるレクリエーションは、心のケアにも繋がるので力を入れておこなっています。

学生にメッセージ！

自分のやりたいことを実現させてもらえたり、介護職は知識や資格が無くても始められ、想いを形にできる仕事です！



名古屋市
中川区

介護福祉士

和佐田 浩佑さん

社会福祉法人紫水会
オーネスト戸田川

※取材時（2023年）



介護に携わる仕事を選んだ理由は？

高校進学時に、父から「すぐに人と仲良くなれるし、話すのが上手なので、介護が向いているんじゃないか」と言われ、介護学科のある高校に進学しました。高校での介護の勉強が楽しく、自分に向いていると思い介護士を選びました。

体験談をお聞かせください

言葉を話せなく、何かあっても私たちに伝えることが難しい利用者さまが、なかなか食事を食べることができない時があり、原因もわからずみんなで困っていたのですが、口腔ケアの時にさし歯がぐらぐらして、これが痛くて食べれないのでは？と歯医者さんに診てもらい、そのさし歯を取ると食べれるようになり、この時は、みんなで連携して解決できたことがすごく嬉しかったです。

他フロアに移動して顔を合わせる事がなかったにも関わらず、担当していた入居者さまが亡くなってしまった時に、ご家族さまから「ありがとう、お世話になりました」と言われた時に介護の仕事を選んでよかったと思いました。

学生にメッセージ！

介護は大変な仕事とよく言われますが、私は人と話すこと、接することが好きなので、とても楽しい仕事だと思います。利用者さま、ご家族さまに「ありがとう」と喜んでもらえたり、入居者さまの笑顔がみれたり、やればやるほどやりがいのある仕事だと思います！！



刈谷市

介護福祉士 介護主任

板井 絵梨さん

社会福祉法人紫水会
オーネスト杜若

※取材時（2023年）

介護に携わる仕事を選んだ理由は？

祖母が障害児支援をしており、私自身も自然と人の助けになるようなことに興味を持ち、学生の時にデイサービスのボランティアに参加しました。その時に、トイレに行きたがっている利用者さまに対して自分が何もできなくて、とても悔しい思いをしたと同時に、「自分が介護士であれば助けになれる!!」と思い、介護士を選ぶきっかけになりました。何よりも私はおばあちゃん子なので、「おばあちゃんと一緒だと楽しい!」という気持ちから介護士を選びました。

体験談をお聞かせください

認知症で覚えること、伝えることが困難な利用者さまにも、毎日声をかけて丁寧にコミュニケーションを取り、寄り添うことで距離を縮められ信頼された時は嬉しいです、自信にもなります。目の見えない利用者さまに「あなたがきてくれると安心する」と言ってもらえた時は、信頼してもらえて良かった!この仕事を選んで良かった!と思いました。

学生にメッセージ！

介護は生活を支える仕事なので、仕事を通じて学んだり経験すること全てが自分の生活にも繋がり、仕事以外でも役に立つことが多いです。介護士は毎日同じ日がない飽きないおもしろい仕事です。人を楽しませたい気持ちがあれば介護士になれます!!

小牧市

介護福祉士

長谷川 麻里さん

社会福祉法人紫水会
オーネスト桃花林

※取材時（2023年）



高齢者の状態を日々把握する 介護に関わる専門家たち！

利用者である高齢者と最も多く接し、リアルタイムで心身の状態や変化を把握し、理解しているのが介護職員。

介護職員 介護福祉士（国家資格）・介護職員初任者研修等



介護職員の主な仕事

身体介護

食事 入浴 排泄

あらゆる介護現場で、専門的な知識と技術が必要とする身体に触れる支援。

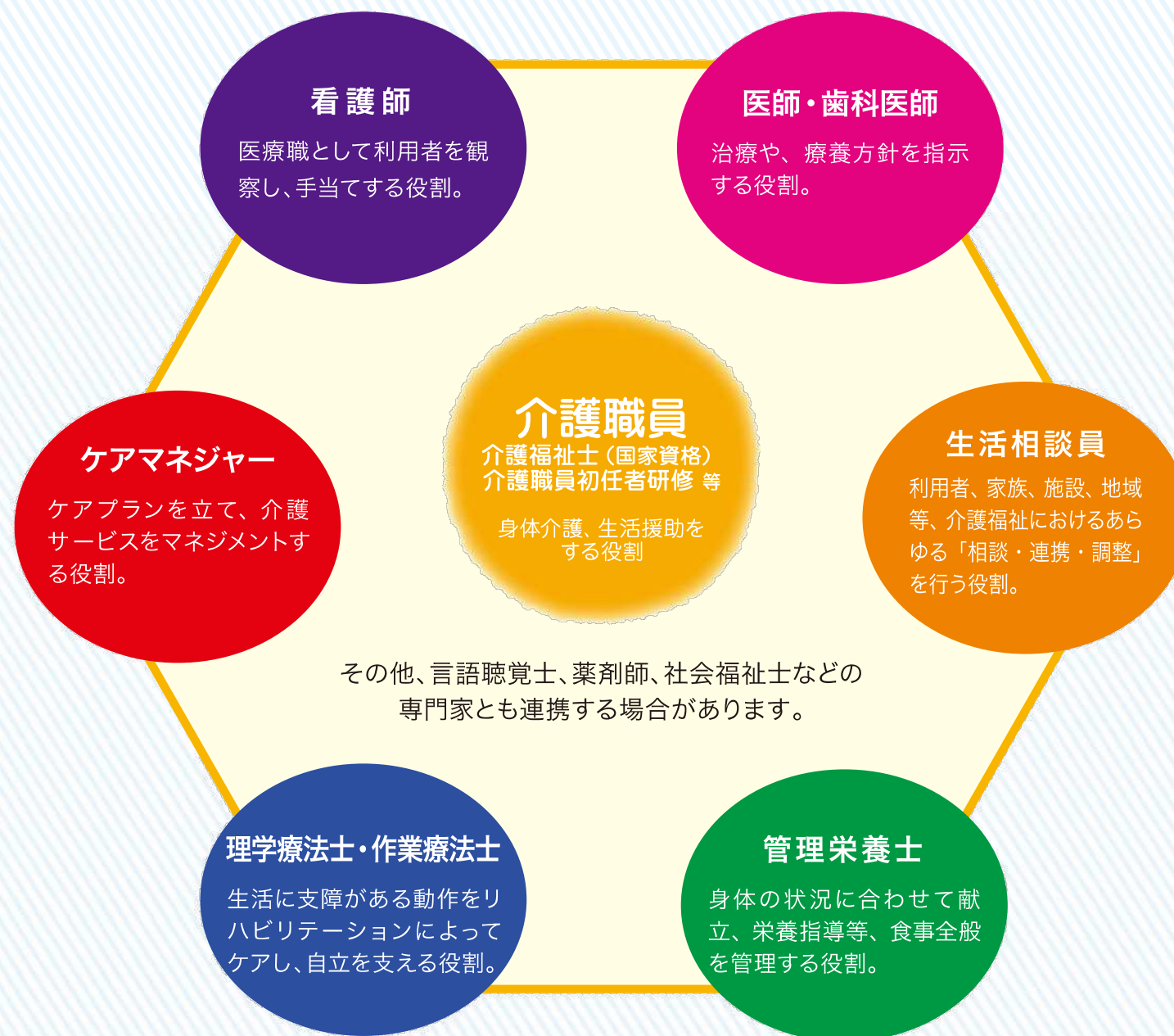
生活援助

買物 掃除 ベッドメイキング

利用者の暮らしの中で、本人や家族が行えない掃除、買い物等、身体に触れない支援。

介護における多職種連携

介護、医療等の専門職が互いの役割を理解し、連携することで、“その人らしさ”を実現します。そのために、高齢者の日々の状態を把握する情報交換等は欠かすことができません。



特別養護 老人ホーム せんねん村 矢曾根 業務連携例

申し送り

出勤したらパソコンで利用者の情報を収集。その後、担当者間で引き継ぎを行う。



日々の生活支援

生活の中で生じた様々な課題は、各分野の専門家と連携して早急に解決！



医療・看取り

医師による往診。看取りが想定される場合は、看取りカンファレンス※1を行い、チームで支えるケアを実施。



イベント

介護職員だけではなく、関係職種や事務職員とも相談して内容を決めることも。



サービス担当者会議

各分野の専門家に家族も交え、ケアプラン※2について協議。全員で“その人らしさ”を実現する介護を考える。



※1 看取りカンファレンス：利用者の最期の時間をどのように過ごしてもらうかについて、各専門職の役割や関わり方を明らかにする多職種連携会議のこと。

※2 ケアプラン：利用者の解決すべき生活課題、利用者本人や家族の意向、援助の方針、提供する介護サービスの種類、目標や達成時期等が記載された介護サービス計画書のこと。

機能訓練指導員

日常生活動作を訓練しながら支援する。



機能訓練指導員を仕事に選んだ理由は？

人と関わることが好きで介護の分野に興味を持ち、「機能訓練指導員」という仕事の「失った機能・能力」ではなく、「今ある機能・能力」に着目して、「一人一人が自分らしく暮らしていけるように支援する」という考えに共感して、未経験の分野でしたが、一から学んでいける事にやりがいを感じて選びました。

体験談をお聞かせください

体の片側が麻痺で動かない利用者さまの「自分で自由に動きたい」という思いを少しでも叶えてあげたいと思い、もう片側の動く手や足のみで操作ができるように車椅子を調整し、自由に車椅子移動ができるようにしました。今では時々テラスまで一緒に散歩に行き、昔話を聞ける大切な時間を持つことができています。

利用者さまを集めて歌を歌ったりもするのですが、大きな声を出すのが得意ではない方も歌だと大きな声で歌ってくれたりします。利用者さま一人一人のできる事を見つけて、それをお手伝いできることが、この仕事の魅力だと思います。

学生にメッセージ！

自分を信じてコツコツと努力を積み重ねていってください。私は、30歳を過ぎてからやりたいことが見つかり、夜間学校に通い学び直しました。自分の可能性を信じて何事にもチャレンジしてください。応援しています！



名古屋市
中川区

機能訓練指導員

藤田 寛信さん

社会福祉法人紫水会
オーネスト堀川 ※取材時（2023年）

☑多職種連携のポイント

専門性は“行為”にあるのではなく、“視点”にある！

皆さんが、介護職員、看護師、機能訓練指導員、理学療法士、作業療法士、管理栄養士等、様々な専門家の仕事を考えたとき、おそらく、その専門家が行う“行為”をイメージするのではないのでしょうか。

もちろん“行為”も重要ですが、実は、それぞれの専門家がある利用者に対して向ける“視点”に、むしろその専門性が顕著に現れます。

例えば、入浴介助を行う場合、看護師は、利用者の方の肌の不調や疾患に気づくことがあるかもしれません。リハビリテーションの専門家は、浴槽への入り方や座り心地の状態に注目し、介護職員は、利用者の方の表情や声色から満足感や疲労感を感じとり声をかけるでしょう。

このように介護の現場では、それぞれの専門家が異なる“視点”で利用者の方を気かけ、その情報を専門家間で共有し連携することで、質の高い介護を実現します。

また、こうした連携により専門家同士が相互理解を深めることで、それぞれが、介護に関わる専門家として成長することにもつながっています。



管理栄養士

調理や発注、献立作成や栄養マネジメントを行う。

管理栄養士を仕事に選んだ理由は？

食べる事に関わる仕事がしたい、人を笑顔にできる仕事がしたいとずっと思っていたのが管理栄養士に興味を持ったきっかけです。

食べる事は最期まで続き、生きる上で絶対に必要なことなので、美味しい食事を提供して、心と体の健康を支えられる管理栄養士を仕事に選びました。

体験談をお聞かせください

学生の頃の実習では、グループで100食作る感じだったのですが、就職したらその100食を一人で... (笑) でも、今では一人で150食作れるようになりました。

普段は調理場で仕事をしていて、直接入居者さまと関わることは多くはないので、入居者さまが食事をしているところを見て周り、食事が取れているか、食事形態が合っているかなど健康状態を直接確認できるミールラウンドや、入居者さまが食べたいものを一緒に作る調理レクリエーションは入居者さまのことを直に知ることができるので嬉しいです。

学生にメッセージ！

たくさん勉強して、たくさん遊んで学生生活を楽しんでください！



名古屋市
中川区

管理栄養士

井上 香亜衣さん

社会福祉法人紫水会
オーネスト戸川 ※取材時（2023年）



機能訓練指導員 ・ 管理栄養士 って何するの？

介護業界の専門家にインタビュー！



介護業界で活躍する

介護業界に入るだけであれば、特に資格はいりません！介護業界の入り口は広く、働きながら専門の資格を取得することもできます。

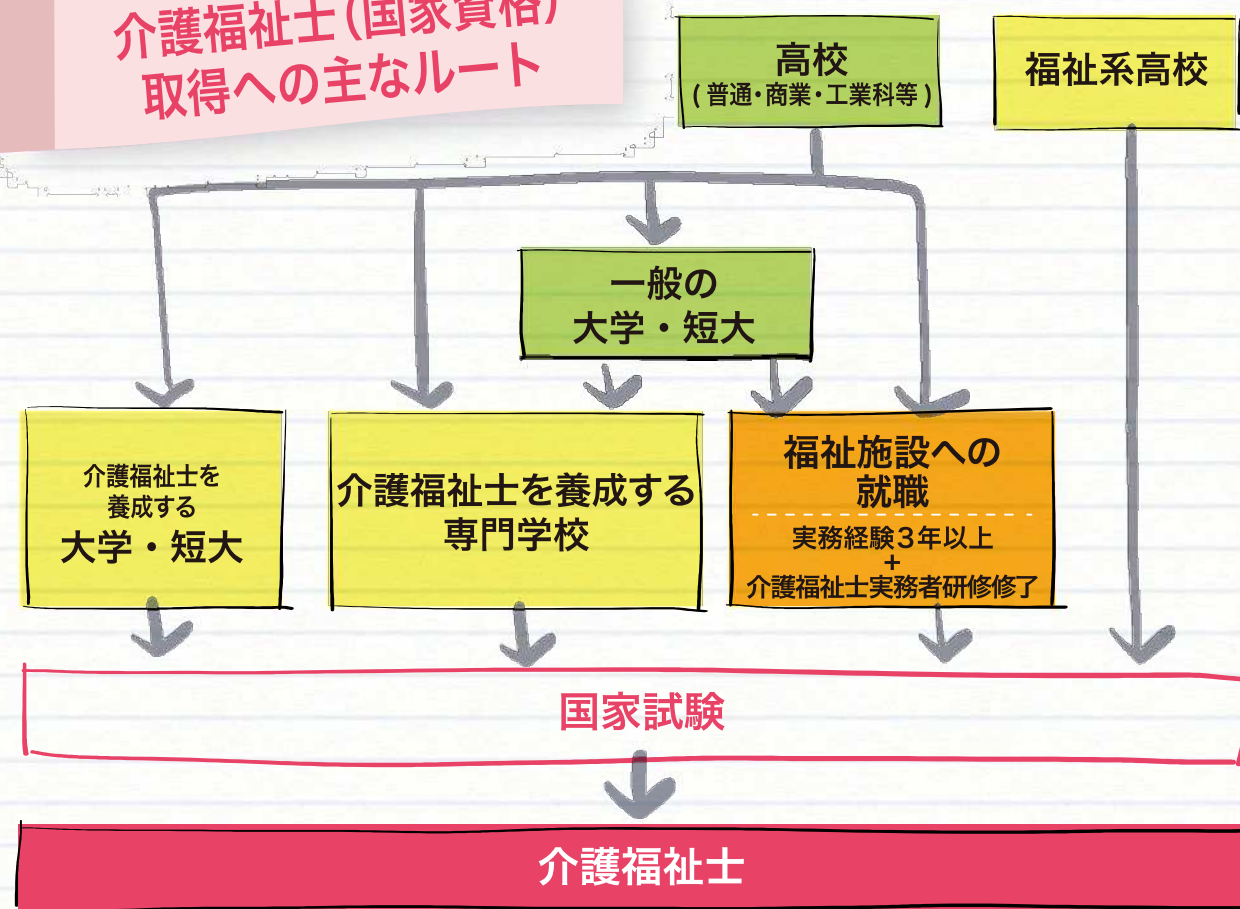
主な介護職の資格

- 介護福祉士（国家資格）
- 実務者研修修了者
- 介護職員初任者研修修了者
- 生活援助従事者研修修了者
- 入門的研修修了者 等

介護福祉士になるためには

福祉系高校を卒業するほか、福祉系以外の高校出身者であっても、専門学校に通ったり、働きながら研修を受講したりすることで、介護福祉士になることもできます。

介護福祉士（国家資格）取得への主なルート



資格を取得し、実務能力を身に付け経験を重ねていくと、「サービス提供責任者※」や「生活相談員」といった道もひらけます。

※ サービス提供責任者：訪問介護サービスの責任者

頑張りがいのある「キャリアパス制度」

介護職員の給与も、その他の業界と同様に、「専門スキル・実能力」と「組織の一員としての能力」等、個人の能力が反映されます。

キャリアパス制度を導入している事業者では、その人の資格やスキル等に応じ、段階毎にしっかりとした評価が行われ、収入面もそれに応じたメリットがあります。

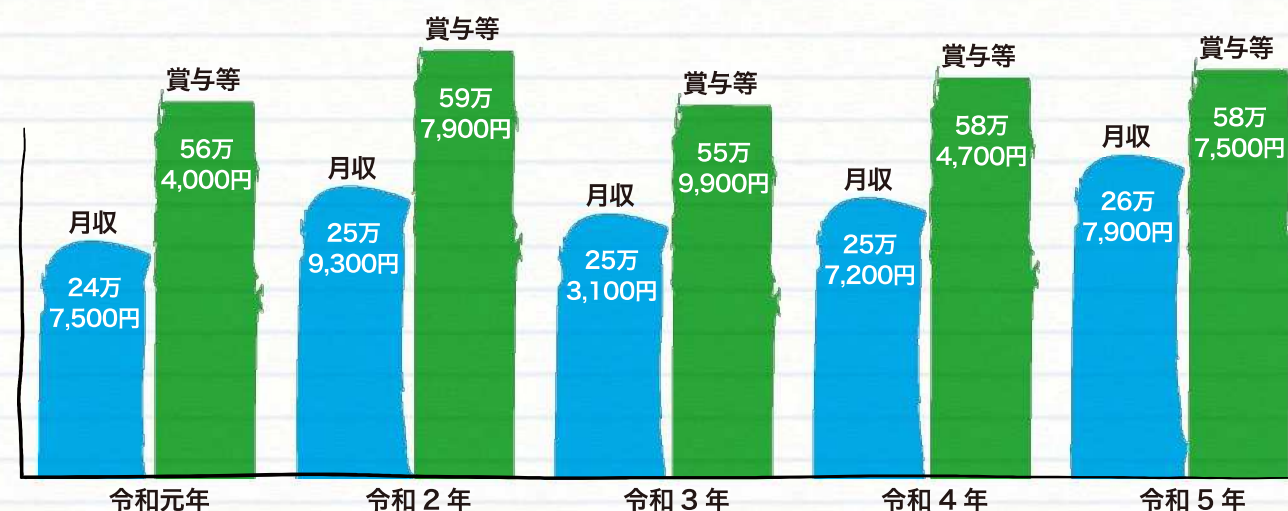


キャリアステップ

給与水準も改善傾向！

国の統計調査によると、医療・福祉施設に勤める介護職員（非正規を含む）の基本給などは、改善傾向にあることがわかります。

介護職員（医療・福祉施設等）の給与水準（企業規模 100～999 人）



引用作成：「令和元年～令和5年賃金構造基本統計調査職種別」より

介護保険制度が支える

安定産業！

介護業界が安定産業として成り立つ背景には、介護保険制度があります。

この制度により、高齢者が安心して暮らすことができ、また、介護職員が安定的に働くことができます。



介護保険制度

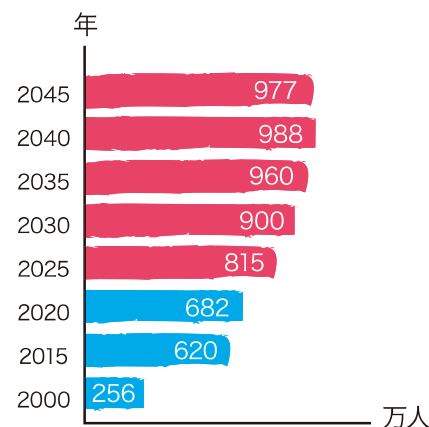
介護が必要な高齢者を社会全体で支える仕組み

- **自立支援**
日常生活を通して高齢者の自立を支援すること
- **利用者本位**
多様な介護サービスを利用者が自由に選択できること
- **社会保険方式**
介護サービスに対し、一定の公的給付を行う制度

介護職員がとても必要とされている

成長産業！

要介護（要支援）認定者の将来推計

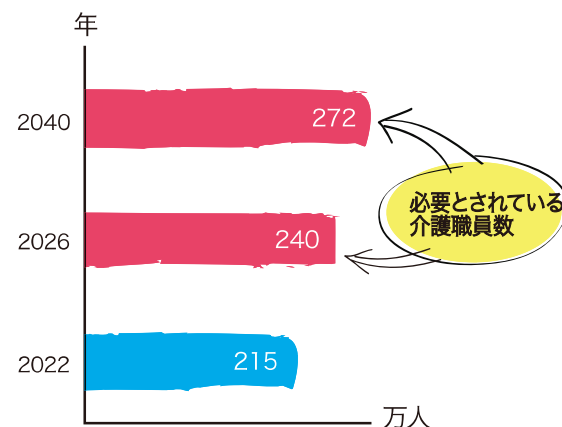


引用作成：
経済産業省『将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会 報告書』平成30年3月
厚生労働省『令和2年度介護保険事業状況報告』

超高齢社会が進む中、2025年には、65歳以上の高齢者人口は、3,653万人に達し、2037年には全人口の約3分の1が高齢者になると推計されています。

また、要介護認定者は要支援を含め、

今後必要となる介護職員数



引用作成：
厚生労働省『第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について』令和6年7月

2030年には900万人台を超えると予測され、こうした流れに伴い、介護職員の不足が課題として想定されますが、逆に捉えれば今後需要が**どんどん伸びていく成長産業**といえます。

介護職員は 様々な場所で 活躍できる！



高齢者の状態やニーズに応じ、入所型、通所型、訪問型等の介護サービスがあります。

そして、各サービスを提供するところが介護職員の職場となります。

入所型サービス

特別養護老人ホーム、
介護老人保健施設 等

施設で暮らしている利用者に対し、介護サービスを提供

通所型サービス

デイサービス、
デイケア 等

自宅で暮らしている高齢者に、自宅以外の場所に来てもらって介護サービスを提供

その他、グループホームや小規模多機能型居宅介護等の**地域密着型サービス**もあります。

訪問型サービス

訪問介護、
訪問入浴 等

高齢者の自宅に訪問して介護サービスを提供

多様化する 介護サービス

要介護者が増加すれば、介護に対する要望も複雑化し、多様化します。それらの要望に柔軟に応えるため、従来通りの基本的な身体介護や生活援助といった介護保険制度に沿った介護サービスに留まることなく、介護保険外サービスも含めた「混合介護サービス」が増えると予想され

ています。また、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたいと願う高齢者のための仕組みづくりも進んでいます。

そのため、ますます介護職員の役割は大きくなります。

さらに、メイクセラピーやアニマルセラピー等、高齢者がいつまでも活力ある暮らしができるようなアプローチも注目されるなど、介護に求められる人材も多様化していくといわれています。

「働きやすさが進む介護業界」

介護業界では、高い産業技術を駆使した介護ロボットや見守り機器などの導入が始まっています。それにより、体力に自信のない人でも志があれば、安心して介護業界で働くことができるようになってきています。

期待される内容！

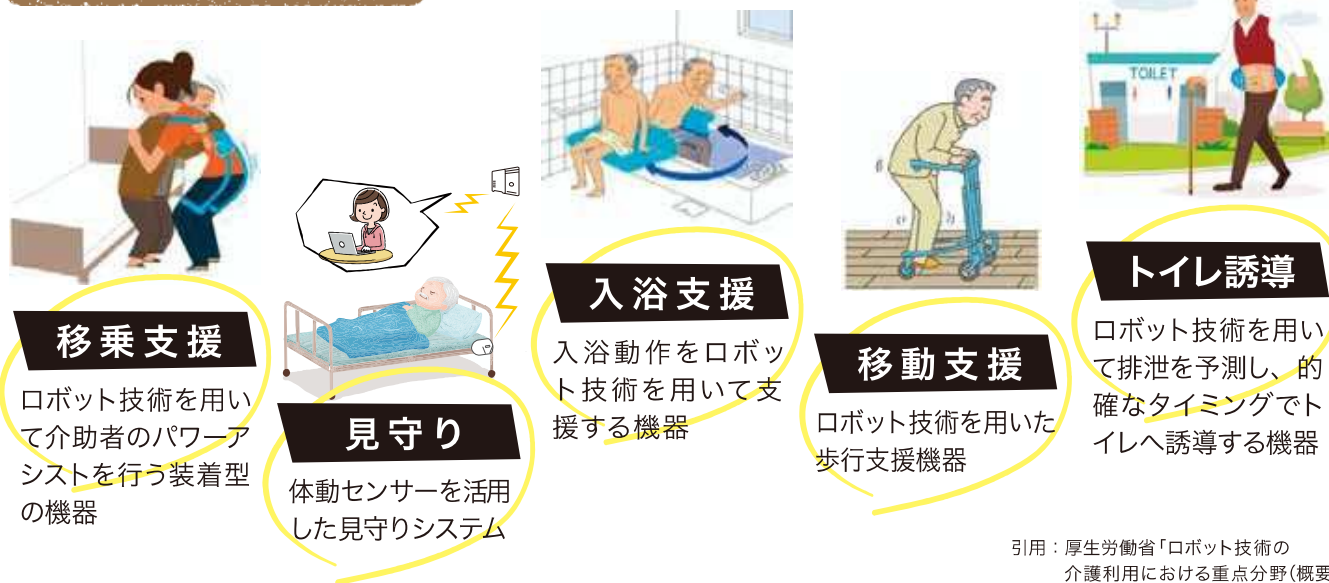
介護職員の負担軽減

より効率的な働き方の実現

質の高い介護サービス

進化する介護技術

働く人と利用者、お互いのために！



下山 久之

同朋大学社会福祉学部社会福祉学科 教授
一般社団法人愛知県介護福祉士会 会長

日本は、世界の国々の中で最も早いスピードで高齢化率が上昇

監修者より

し、超高齢社会となりました。その過程で、家族による介護だけでは対応しきれなくなり、専門職としての介護福祉職が誕生してきました。1987年に社会福祉士及び介護福祉士法が制定されてから30年以上が経過し、そして2000年に介護保険法が施行され約20年になります。この期間に、介護福祉の専門性が探求され、社会的な制度も整ってきました。

超高齢社会が豊かな成熟社会となるためには、FEC産業がその社会の基幹産業となり、FEC自給圏を形成する必要があると言われています。FEC産業とは、Food(食)、

Energy(エネルギー)、そしてCare(医療・保健・福祉サービス)に関わる産業です。

人生の最後まで豊かに前向きに生きていくためには、FEC産業の中でも特にCare産業が重要となります。すべての人が生まれてきたことに喜びを感じ、人生の最後まで健やかに生き切ることを支える介護の仕事は、その実践を通し福祉文化・福祉社会の創造を目指す取り組みでもあります。

この小冊子を通し、みなさんに介護の魅力を感じて頂けることを願っております。



平野 隆之

日本福祉大学社会福祉学部 教授

とても介護福祉の専門と言えない大学の教員が、なぜ編集のお手伝いができたのでしょうか。大学以外において、NPO法人コミュニティライフサポートセンターの理事を担い、同法人が新たなケアのあり方を模索する運動に参加していたからです。介護保険制度導入の前後から、その人中心(パーソンセンター)の認知症高齢者ケアや、高齢者に限らず子どもも障がいのある人もごちゃまぜの共生ケアといった新たなケアを実践者とともに考えてきました。その活動の

成果がこの冊子に生かされています。いまでも通用するものですが、施設ケアのあり方についての「入口はその人らしさ、出口は地域」というスローガンを思い出します。施設で介護する人も、利用者のその人らしさを求めると、その人の地域社会との関係を支援するケアが必要というメッセージです。

いま、令和の時代にあった新しいケアの創造が必要となっています。若い人の新鮮で、エネルギッシュなパワーのもとに。

おわりに

高校生の皆さん、最後までお読みいただきありがとうございます。

「介護の仕事」についての理解を深めていただけましたでしょうか。

「介護の仕事」には、一面的なマイナスイメージが存在しているかもしれませんが、これまで見ていただいたように、その人の人生に寄り添う、この仕事ならではの魅力がたくさん詰まっており、現場には、日々モチベーション高く奮闘する素敵先輩がたくさんいらっしゃいます。また、皆さんのような若く、未来あふれる人材に多く来ていただけるよう、給与や労働環境を改善する取組も進められています。

このような「介護の仕事」の魅力や働きやすさを紹介した本冊子が、皆さんの進路選択にあたっての一助となれば幸いです。

愛知県高校生介護技術コンテスト

令和5年7月、第9回愛知県高校生介護技術コンテストが愛知県立古知野高等学校を会場として開催されました。このコンテストは3人1組でチームを作って課題に対する介護技術を競い合うものであり、7分間の介護技術とその介護に込められた思いを伝える2分間のアピールによって審査が行われます。

今回は、「居室のベッドに座っている右上下肢に麻痺のある85歳の女性を車椅子に移乗し、帽子を被り、中庭まで移動する介助をする。中庭に到着したらコミュニケーションを図る。」という課題が出され、15校から出場した選手たちは、これまでに学んだ技術を活かしながら、相手に寄り添った介護を行っていました。

その結果、今年度は一宮北高校が最優秀賞、桃陵高校が優秀賞となりました。一宮北高校は8月に行われた東海大会でも最優秀賞となり、10月に福井県で行われた全国大会に出場しました。

